

【須坂市】校務DX計画

2025年3月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	100%				
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	100%				
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	100%				
選択項目	1.児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受けつけ、学校内で集計している学校の割合	44%	100%			
	3.学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信している学校の割合	44%	100%			
	16.職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化している学校の割合	100%				
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	・教職員のICT活用意欲や活用スキルの格差				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員を配置し、ICT機器を活用した授業の提案やサポートを実施 ・ICT教育に係る研修会の企画・実施 ・DX先進校の公開授業への積極的な参加呼び掛け 				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	R6年度より、試行的に一部学校にて保護者連絡ツールを導入し、保護者から学校への欠席連絡などの効率化を図った。R8年度には当ツールを全校へ展開し、保護者への配布物についてもツールによるデータ配信を進め、教職員の働き方改革を推進していく。				